
 学 会 記 事

第 270 回新潟循環器談話会

日 時 平成 24 年 3 月 3 日 (土)
午後 3 時～6 時
会 場 新潟大学医学部 有王記念館
2 階会議室

I. 一 般 演 題

1 家族性肺動脈性肺高血圧症の 1 例

萱森 裕美・若杉 崇幸・小田 雅人
小幡 裕明・渡部 裕・柏村 健
伊藤 正洋・埜 晴雄・小玉 誠
富川 千絵*・羽尾 和久*・渡辺 律雄*
小川 理*・清水 博*

新潟大学大学院医歯学総合研究科
循環器分野
県立中央病院*

肺高血圧症のうち、原因不明とされていた原発性肺高血圧症では、家族発症例の家系解析によりいくつかの遺伝子異常が同定され、分子遺伝学的な研究が進んでいる。

母と姉が同疾患で死亡している、遺伝性肺動脈性肺高血圧症と考える 29 歳男性の症例を経験した。肺高血圧症の発症に関与する遺伝子異常について、および本症例の経過について報告する。

2 当センター 10 年間のデータから見た冠危険因子と急性心筋梗塞の関係：59 歳以下の男性と 79 歳以下の女性では肥満は心筋梗塞との間に有意な関係が認められたが、それ以上の高齢者では認められず、全年齢で糖尿病と喫煙が心筋梗塞に強く関係していた

後藤 雅之・松下 宏興・宝田 顕
富田 任・斉藤 敦志・布施 公一
藤田 稔・池田 佳生・北沢 仁
高橋 稔・佐藤 政仁・岡部 正明
高綱増美子*・家老 守*・小田 栄司*
長谷川幸子**・今井 悠子**
石田なほみ**・行田 文**
相澤 義房***

立川メディカルセンター
循環器センター
同 総合健診センター*
同 診療情報室**
同 研究開発部***

【背景】日本人は欧米人に比べて肥満の頻度が非常に少ない。日本人においては、過体重 (BMI 25 以上 30 未満) または肥満 (BMI 30 以上) が心筋梗塞の独立した危険因子かどうか、未だに明確な結論が出ていない。また、この点に関して、年齢によって異なるという報告がある。

【方法】10 年間に当循環器センターに入院した日本人の初発急性心筋梗塞 (発症 10 日以内) 患者 1,199 例と、虚血性心疾患の既往のない健診受診者 4,056 例を対象とした。粗データと、性と年齢を無作為に一致させた 1 : 1 対応データ (男性 688 対, 女性 233 対) で、冠危険因子と心筋梗塞の関係を解析した。年齢は 59 歳以下, 60-79 歳, 80 歳以上の 3 群に分類して、性別年齢別に上記冠危険因子の有病率を比較し、相互に補正した心筋梗塞のオッズ比を計算した。粗データでは年齢でも補正した。肥満 (BMI 25 以上), 糖尿病, 高血圧, 高 LDL コレステロール血症, および、現喫煙を冠危険因子とした。

【結論】肥満は 59 歳以下の男性と 79 歳以下の女性では心筋梗塞と独立に関係したが、それ以上の高齢者ではそうではなかった。但し、59 歳以下の女性については、症例が少なく明確な結果が